

## 第2次土浦市観光基本計画（改訂版）（案）に係るパブリック・コメント実施結果について

### 1 実施結果

募集期間	令和6年1月13日（土）～令和6年1月28日（日）
募集方法	土浦市役所商工観光課、情報公開室、各支所・出張所及び各地区公民館に設置したほか、市のホームページ（パブリック・コメント募集事案のページ内入力フォーム）において掲載を行った。 意見については、持参、郵便、ファクシミリ、電子メール、入力フォームのいずれかにより募集を行った。
意見提出者数	2名
意見件数	13件
市ホームページ閲覧数	187件（パソコン：107件、スマホ：80件）

### 2 提出された意見とその意見に対する考え方

意見No	項目	意見内容	意見に対する考え方等								
1	P5 図表－本市の観光資源	<p>各観光スポットに「公共交通機関によるアクセス時間及び料金」、「公衆トイレのキャパシティ」、「駐車場の規模及び料金」の欄を付け加えると、当市の『行きたい』の指標は有名観光地と比較すると低くなると思う。</p> <p>例えば、「縄文のビーナス」の展示施設がある長野県の茅野市はAI乗合オンデマンド交通「のらぎあ」 (<a href="https://www.city.chino.lg.jp/site/new-kotsu/">https://www.city.chino.lg.jp/site/new-kotsu/</a>) を運用していて、住民向けのサービスであるが、観光客も利用できる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>距離</th> <th>3キロ未満</th> <th>3キロ以上5キロ未満</th> <th>5キロ以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>料金</td> <td>300円</td> <td>500円</td> <td>700円</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、三春の「滝桜」は観光協会が広大な無料駐車場と無料のシャトルバスを提供している。</p>	距離	3キロ未満	3キロ以上5キロ未満	5キロ以上	料金	300円	500円	700円	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける観光地のサービス面に関する分野の、戦略プログラムの「C4あらゆる人々のニーズにあわせる訪問地づくり」に関連するものとなります。</li> <li>今後、計画を推進していく中で、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議において、具体的な方策について検討するほか、様々なアクセスに関連する個別事業を推進する上での参考にさせていただきます。（計画の修正はなし）</li> </ul>
距離	3キロ未満	3キロ以上5キロ未満	5キロ以上								
料金	300円	500円	700円								

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
		<p>松島の瑞巖寺近辺の駐車場では観光地であるにもかかわらず500円/1日(普通車)が複数ある。</p> <p>飛騨の高山市は市内のほとんどの駐車場が150円/30分間(普通車)である。</p>	
2	<p>P14</p> <p>サイクリングロードの充実と関連するまちづくり事業の推進</p> <p>《つくば霞ヶ浦りんりんロードの開通》</p>	<p>県主導で開通したリソースを活かした「自転車のまちづくり」を積極的に推進して頂きたいと願います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムの「Df「サイクリング」資源の活用」に関連するものとなります。</li> <li>・同施策の中で「サイクリング施設の拠点づくり、りんりんロードの整備、自転車コースのPRなどを図りながら推進していく」としており、今後、計画を推進していく中で、具体的な方法について検討するほか、サイクリングに関連する個別事業を推進する上での参考にさせていただきたいと考えます。</li> </ul> <p>(計画の修正はなし)</p>
3	<p>P16、P22-33、P40-42、P59-77</p> <p>(Plan-Do-Check-Action)</p>	<p>P16の第2次計画(改定前)の体系に基づいた活動結果がp22-33の②取り組み状況について(戦略プログラム)であり、活動結果に基づき見直したものがp59-77の第4章 戦略プログラム(主要事業)であると思われるが、p40-42の今後の課題①～③がどのように取り込まれたのか分かりにくい。</p> <p>p16、p24の「社会環境変化」C1～C4が、p63のC1～C4で内容が全く変わってしまった理由が不明である。</p> <p>同様に(新規)の取り組みが、何に基づいて組み込まれたのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただいた課題①～③の部分は、取組の柱の3本柱ごとに整理されているものです。</li> <li>・今回の改訂にあたっては、取組の柱の3本柱とA～Gは継承しており、新たに改訂を行ったp59-77の第4章 戦略プログラム(主要事業)部分は、課題①～③の部分の考え方にに基づき、全体的に加除修正をしたものとなっております。</li> </ul> <p>(計画の修正はなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改訂版(案)では、コロナ禍の先にある新たな観光の姿を捉え、より踏み込んだ施策・事業の見直しを行いました。</li> </ul>

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
		<p>の説明がない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重複・類似する施策や事業を整理し、国・県の観光関連計画等の見直しや、昨今の観光トレンドなども踏まえ、C1～C4 の部分は内容を大幅に見直しました。</li> <li>新規の取り組みについては、第3章に移動し、横断性を持たせたリーディングプログラム（重点施策）として、計画の建付けを変更したため、それに施策・事業として不足している内容を検討した結果位置づけが必要となったものとなります。</li> </ul> <p>（計画の修正はなし）</p>
4	P25  Da ～「城・まち」資源の活用～	<p>亀城公園（土浦城跡）は観光・旅行業界では城址（じょうし）が使われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘いただきました点につきましては、下記のような表記の方法で整理をさせていただいております。</li> </ul> <p><b>【表記のルール】</b>            県指定史跡の登録名が「土浦城跡及び櫓門」であることから原則、「土浦城跡」とし、個別の事業名等が「城址」である場合、それに従っています。</p> <p>（計画の修正はなし）</p>
5	P38、P56  「食」「イベント」	<p>佃煮を土浦ブランドとしながら、売り方を考えていない。            今どきは年寄りでも佃煮をおかずに行っている人は少なく、当然若い人は食べたこともない人が多いと思われる。</p> <p>例えば、佃煮を具にしたおむすびを、かすみがうらマラソンの会場で「数量限定」販売で話題作りを行い、ネットのクチコミで新規ニーズを掘り起こすような工夫があってもよいと思われる。            （かすみがうらマラソンはリピーターが多いのでクチコミの力は大きい）（「数量限定」は話題になりやすい）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「Dd「食」資源の活用」の分野に関連するものとなります。</li> <li>今後、計画を推進していく中で、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議において、具体的な方法について検討するほか、食やブランドに関連する個別事業を推進する上での参考にさせていただきたいと考えます。</li> </ul> <p>（計画の修正はなし）</p>

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
6	P41  第2次計画における課題 ○広域連携により観光の幅を広げること	例 ～ 亀城公園・城址見学 → 霞ヶ浦遊覧 → 霞月楼・昼食会場 → 予科練平和記念館・雄翔館（二人像） 見学（阿見町）→ いばらきフラワーパーク（石岡市） → ギター文化館（同市・県施設）（ミニコンサート鑑賞）など新たな広域観光ルートの開発・研究。（旅行会社とタイアップ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「E「広域観光連携」の推進」の分野に関連するものとなります。</li> <li>・今後、計画を推進していく中で、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議において、具体的な方法について検討するほか、観光ルートやネットワークに関連する個別事業を推進する上での参考にさせていただきたいと考えます。</li> </ul> （計画の修正はなし）
7	P42  ③市民参加と観光のビジネス化 第2次計画における課題 ○市民、事業者が主役となって土浦の観光を盛り上げること ○観光を「産業」として育て、経済の力にすること	事業者同士の連携やもっともっと市民が参加し、行政主導から民（事業者主導）への転換を図って頂きたいと思えます。 また、観光の専門的な人材を発掘し、様々なステークホルダーとの連携循環を促進し、産業として育つことを期待します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「F2 市民主導のおもてなし組織体制の構築と強化」や「G2 産業間コラボレーションによる価値創造」の施策に関連するものとなります。</li> <li>・今後、計画を推進していく中で、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議において、主体的な民の取り組みが促進されるよう、その仕組みづくりや産業化への展開について議論してまいりたいと考えます。</li> </ul> （計画の修正はなし）
8	P48  3つのターゲットとリーディングプログラムの設定について	ターゲット2 域外（国内遠方）は国内が使われている（観光・旅行業界）。（海外・国内が分かりやすい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、表現がわかりにくいため、「海外・国内各地」という表記に修正いたしました。なお、こちらのご指摘内容につきましては、会議におきましても指摘をいただいておりますので、パブリックコメン資料では修正させていただきました。</li> </ul>

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
9	P52 リーディングプログラム 2「外から選ばれる土浦」	取組の方向制 1 → ターゲットに応じた情報発信 C3 A4 まだ市の認知度が低い関西 → 「関西圏 → 中京圏（名古屋圏）」が専門用語。 国内遠方に向けた（蓮見先生の見解・各地） → 国内に統一が良いと思います（同業界）。	・ご指摘いただきました点につきましては、表現がわかりにくいため、「関西圏」という表記に修正いたしました。なお、こちらのご指摘内容につきましては、会議におきましても指摘をいただいておりますので、パブリックコメン資料では修正させていただきました。
10	P56 ホスピタリティのある訪問地づくり	「市民によるおもてなし」を推進しようとしているが、桜土浦 IC 及び土浦北 IC の出口に観光地への誘導標識がなく、行政が観光客を「おもてなし」しようとする意思が見えない。 （初めて訪れた土地で、IC のループを通過することで方向感覚を無くしていることが多いので、どちらへ進むべきか迷いやすい。）	・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「F「市民・事業者」の主体的な力の育成」の分野に関連するものとなります。 ・誘導標識の設置については、関係機関との協議や標識設置の可否について個別具体的な検討が必要になると考えており、今後、新たに設置する場合、いただいたご意見を参考に検討したいと考えます。 (計画の修正はなし)
11	P85 3 市民参加と観光のビジネス化 3-① 観光ボランティアガイドについて	ガイドの高齢化による存続を考え、40代～50代の若返りの時期と推察し、ガイドの登用・育成をし、ボランティアガイドから「有償ガイド」に移行が必須と思料します。 それによる、プロ意識の醸成、モチベーションアップが図られると思います。 長期的には土浦市の更なる観光の発展に繋がる。 例 ～ 観光客 1 名（500 円程度を徴収）。経費を除く金額を毎月分配する。 有名観光地、温泉などではガイド料は当たり前となっています。	・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「F2 市民主導のおもてなし組織体制の構築と強化」の分野に関連するものとなります。 ・ボランティアガイドの新たな担い手は、今後の課題でもあり、取り組んでいく必要があると考えており、今後の検討課題とさせていただきたいと考えます。 ・なお、ガイドの有料化については、取組みの趣旨などを踏まえ、そのあり方について、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議における議題

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
			<p>としても取り上げ、議論してまいりたいと考えます。</p> <p>(計画の修正はなし)</p>
		<p>霞ヶ浦市民協会主催の霞ヶ浦検定を市内の小・中学校へ周知し もっと「霞ヶ浦」への関心を持って欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「Db「湖」資源の活用」の分野に関連するものとなります。</li> <li>・ご意見については、担当課に伝え、霞ヶ浦検定の活用方法について、参考にさせていただきます。</li> </ul> <p>(計画の修正はなし)</p>
		<p>以前、市の事業に参加し「霞ヶ浦の観光のまちづくり」に関わった際、霞ヶ浦との比較が必須と考え、「琵琶湖」の視察をしましたが、湖の青さ（透明度）、祝日であり、湖畔での大津市民の管弦楽演奏やグリークラブの練習風景に観光・文化の違いを痛感しました。</p> <p>それをプレ湖沼会議で提言し、霞ヶ浦 KOHAN ロック実行委員会が発足し、毎夏霞ヶ浦湖畔で「KOHAN ロックフェス」が開催されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土浦市の観光政策を支える立場から、事例やご自身の体験を踏まえた貴重な御意見は非常に参考になります。</li> <li>・ご指摘いただきました点につきましては、戦略プログラムにおける「Db「湖」資源の活用」の分野に関連するものとなりますので、今後の観光施策に展開において参考とさせていただきます。</li> <li>・このような具体的な経験をもとにした御意見などを、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議でも紹介させていただき、実行性の高い観光施策が展開できるよう努力してまいります。</li> </ul> <p>(計画の修正はなし)</p>

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
		<p>中央公論 ～ 2015/2 特集/ 脱「地方消滅」成功例に学べを参考に「北海道ニセコ町」住民自治が守ったパウダースノー観光協会の株式会社化。2003年に全国で初めて、町が50%、町民が50%を出資する、株式会社ニセコリゾート観光協会が設置された。事務局長は公募で選ばれ、民間で観光事業の経験のある人物が外部から採用された。柔軟で戦略的な動きが可能となり、九州や関西からもスキー修学旅行の誘致に成功し、町からの補助金がゼロになった。雇用は10名を数える。</p> <p>ニセコ町の観光資源は、パウダースノーと豊かな自然、農業が創り出す景観。</p> <p>ニセコのパウダースノーは、オーストラリア人のロコミで世界中に知れ渡り、今や、カナダやヨーロッパからもスキー客が訪れている。ニセコ町役場では、外国人スタッフ（正職員1名、国際交流員4名、「中国、韓国、イギリス、スイス」）が日本人スタッフと共に誘客業務に従事し、各国旅行代理店へのプロモーションを実施している。</p> <p>地価上昇率国内1位連続や、外資による、リゾートホテル・コンドミニアム建設が進み、世界中のスキーヤー憧れの高級スノーリゾートに変貌。</p> <p>旅行業界のオスカー「ワールドスキー・アワード 2014」では「日本のベストスキーリゾート」を受賞。</p>	<p>・ご紹介いただきました観光協会の株式会社化につきましても、本市の観光を産業として発展させていくためにも重要なことでもありますので、具体的な経験をもとにした御意見などを、毎年度実施している土浦市観光戦略推進会議でも紹介させていただき、具体化に向けて努力してまいります。</p> <p>(計画の修正はなし)</p>
1 2		<p>・来訪者向け意向調査（アンケート）の厳しい意見を真摯に受け止め改善が必要と思います。</p>	<p>・今回のアンケートの際にいただいた意見につきまして、今後、計画を推進していく中で、参考にさせていただきたいと考えます。</p> <p>(計画の修正なし)</p>

意見 No	項目	意見内容	意見に対する考え方等
13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土浦市の観光キャッチコピーを『つくば霞ヶ浦りんりんロードとれんこんの街』としての発展を願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、計画を推進していく中で、参考にさせていただきたいと考えます。 (計画の修正なし)</li> </ul>